

報道関係各位

災害を想定したドローン輸送の実証と自治体における
ドローン活用のワークショップの実施について

町では、ドローンスクールを運営する Freaks Garage（フリークスガレージ）と令和5年3月1日に締結した「AUG」を活用した包括連携協定に基づき、災害を想定したドローン輸送の実証を実施します。

今回は、町・フリークスガレージに加えて、町と包括連携協定を提携している早稲田大学人間科学学術院とも連携し、大雪により通行不可となった集落に物資を届けるため、ドローンで輸送することを想定した実証を行います。

後日、自治体におけるドローン活用について検討するワークショップを行います。

※「AUG」とは、以下の無人操縦機の総称です。

UAV（無人航空機）・UUV（無人潜水機）・UGV（無人地上車両）

1 災害を想定したドローン輸送の実証

- ① 実施日時 3月17日（金）午前10時00分～
- ② 飛行ルート 大字下日野沢地内 沢辺公会堂から重木公会堂の間（0.8km）
- ③ 積載物品 防災倉庫の備蓄品

2 自治体におけるドローン活用のワークショップ

- ① 実施日時 3月23日（金）午後2時00分～午後4時00分
- ② 実施場所 働Co-factory みんなのLABO（大字大淵284）
- ③ 参加者 皆野町・早稲田大学人間科学学術院・Freaks Garage

【問い合わせ】

みらい創造課 政策推進担当 阿保
電話：0494-26-7334 FAX：0494-62-2791



災害を想定したドローン輸送の実証と自治体における ドローン活用のワークショップの実施について

1 背景

近年、日本全国で災害が多発しており、皆野町でも平成 26 年 2 月の大雪や令和元年の台風 19 号による災害により、集落への道路が通行不可となり、地域住民の生活に多大な被害を受けた。

今後、同じような被害が起こった際に、災害物資を運ぶ手段を整えておく必要があり、町内でドローンスクールを運営している Freaks Garage（フリークスガレージ）と令和 5 年 3 月に包括連携協定を締結し、防災の強化を図る。また、様々な分野でドローンを活用するため、町と令和元年 5 月に地方創生や教育の振興を目的とした包括連携協定を締結した早稲田大学人間科学学術院と協力してドローンの活用方法の検討を進める。

2 実施内容

①災害を想定したドローン輸送の実証

今回の災害を想定した物資輸送の実証では、下日野沢地内の重木集落に向かう道路が大雪で通行不可となったため、防災倉庫の備蓄品をドローンで輸送することを想定とする。物資輸送のほか、地域住民も参加し、ドローンからの音声による安否確認を行う。

【飛行ルート】 大字下日野沢地内 沢辺公会堂から重木公会堂の間 (0.8km)



- ・実施日時 3月17日（金）午前10時00分～

- ・必要物資を輸送

- ・地域住民も参加し、ドローンからの音声による安否確認を行う

※取材に車でお越しの際には、日野沢川ふれあい広場駐車場に停めて、徒歩（5分程度）で沢辺公会堂へお越しく下さい。重木公会堂に行く際には、沢辺公会堂から町公用車で送迎します。

②自治体におけるドローン活用のワークショップ

皆野町・早稲田大学人間科学学術院・Freaks Garageの三者が連携して、自治体におけるドローンの活用方法について検討する。

観光や防災の分野に限らず、地域活性化や教育など幅広く活用について、ワークショップを行い、アイデアを出し合う。

- ・実施日時 3月23日（金）午後2時00分～午後4時00分まで

- ・実施場所 働Co-factory みなものLABO（大字大淵284）

- ・参加者 約20名（皆野町・早稲田大学人間科学学術院・Freaks Garage）